

平成30年9月7日（金）

県政 F ネット

感染症の予防のための
情報提供について

連 絡 先
三重県医療保健部 薬務感染症対策課 感染症対策班 担当：金谷・小掠 電話： 059-224-2352

病 名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）		
年齢及び性別	3才・女性	職 業	無職
住 所	津市		
発病年月日	平成30年 8月29日		
診断年月日	平成30年 9月 7日		

（患者発生の経過）

- 8月29日 発熱（39℃）症状がみられた。
 8月30日 発熱に加え、下痢の症状がみられた。
 9月 1日 腹痛、下痢、血便の症状がみられた。
 9月 2日 症状が継続したため、津市内の診療所を受診し、同市内病院へ紹介受診となった。
 9月 3日 症状継続に加え、嘔吐、倦怠感の症状がみられたため、同市内の別の診療所を受診し2日に受診した同病院へ紹介入院となった。
 9月 4日 症状はあるものの、徐々に軽減がみられた。
 9月 7日 9月3日の便検査から、腸管出血性大腸菌感染症と診断された。
 患者は現在、軟便の症状がみられるものの快方に向かっています。

【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（津保健所）

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
患者	39	27	29	29	20
保菌者	19	10	15	13	11
計(感染者)	58	37	44	42	31

※平成30年1月1日～平成30年9月7日現在まで本件含む

平成30年内 患 者：O157（15人）O26（2人）O111（1人）O121（1人）
O165（1人）

保菌者：O157（9人）O121（2人）

【自分でできる対策】

1 予防の3原則

① 加熱（菌を殺す）

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。
 肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。
 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。
 焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。
 井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

② 迅速・冷却（菌を増やさない）

調理した食品はすぐに食べましょう。
 冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。

③ 清潔（菌をつけない）

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。